

国際ロータリー第2550地区【栃木】2022-2023年度

# ガバナー月信

R.I.D 2550 tochigi

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーからの  
メッセージ動画は  
youtubeで  
視聴できます。

**YouTube**

GOVERNOR'S  
message

vol. **11**  
2023.05



## contents

アイコンをクリックでそのページにとびます。



イマジン  
ロータリー

**01**

**02**  
Governor's  
message  
ガバナーメッセージ

*Symposium*  
**座談会**  
青少年奉仕  
現状と課題

### 行事実施報告

I M実施報告  
2/25 第5グループ  
3/26 第7グループ

**03**

**04**

主要行事予定

**05**

会員数報告

**06**

新入・物故会員

**07**

コーディネーターNEWS・ハイライトよなやま

**08**

6月号寄稿募集告知

**09**

NEWS

ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言  
絵本再生プロジェクト 栃木市寄贈のご報告  
鹿沼ロータリークラブ例会場変更のお知らせ (2023年6月～)

**10**

Governor's  
gallery

ガバナーギャラリー



**My ROTARY** - Rotary International



イマジン  
ロータリー

01



# イマジン ロータリー

## 2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

## 4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



# ガバナーメッセージ

さぬきなおみち  
佐貫直通

Governor's Message

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー  
宇都宮陽東ロータリークラブ

今回の座談会の収録は、令和 5 年 4 月 18 日（火）に行われました。  
その 4 日後の令和 5 年 4 月 22 日（土）、収録にご参加いただいた青少年交換委員会・委員長の岩崎正日登様が、急逝されました。青少年奉仕委員会・委員長の二十二様、岩崎様の所属クラブである宇都宮陽北ロータリークラブ様にご了承いただき、今回収録した動画はそのまま配信させていただくことになりました。

岩崎委員長の交換学生に対するあたたかな思いや活動に対する情熱が言葉の端々に感じられるお話でした。

これまでの活動に感謝を申し上げるとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 座談会 Symposium 青少年奉仕 現状と課題



じそじおさむ  
二十二修  
青少年奉仕委員長  
(宇都宮北 RC)



いわさきまさひと  
岩崎正日登  
青少年奉仕委員長  
(宇都宮陽北 RC)



ふじたかつひこ  
藤田克彦  
RYLA 委員長  
(宇都宮北 RC)



ふじしま たく  
藤島 拓  
インターアクト委員長  
(宇都宮南 RC)

佐貫ガバナー（以下佐貫G）／国際ロータリー第 2550 地区の皆様、こんにちは。

今月のガバナーメッセージは、5 月の『青少年奉仕月間』にちなみ、第 2550 地区・青少年奉仕部門の各委員長の皆様にお集まりいただきました。お話を伺っていきたくと思います。ガバナー月信 3 月号でもお話しをさせていただいたように、2019 年の規定審議会でローターアクターが一般ロータリアンと同じ位置づけとなりました。そのため現在の地区部門の中にある青少年奉仕部門は、大きい委員会として青少年奉仕委員会があり、その中に 3 つの小委員会があります。

1. 青少年交換委員会
2. ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）委員会
3. インターアクト委員会

この 3 つで構成されています。

それぞれの委員会がどのような活動に取り組んでいるのか、現状と課題、各委員会の連携、私たちロータリアンにできることなどをお伺いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、各委員長から自己紹介をお願いいたします。青少年委員会・二十二委員長、お願いいたします。

**二十二修・青少年奉仕委員長（以下二十二委員長）** / みなさん、こんにちは。青少年奉仕委員会・委員長の二十二（じそじ）と申します。所属は、宇都宮北ロータリークラブでございます。当委員会は、先ほどガバナーからもお話がありましたが、インターアクト・RYLA・青少年交換の3つの委員会で活動させていただいております。以前、青少年奉仕委員会に所属しておりましたローターアクトクラブは、ロータリーが指導・育成するクラブからロータリーとともに活動するクラブへと成長し、この委員会を巣立っていきました。したがって、今年度はこの3委員会では活動しているところでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ガバナーからの  
メッセージ動画は  
youtubeで  
視聴できます。

**YouTube**  
GOVERNOR'S  
message



**佐貫G** / ありがとうございます。続いて青少年交換委員会・岩崎委員長、お願いいたします。

**岩崎正日登・青少年交換委員長（以下岩崎委員長）** / 青少年交換委員会の委員長を務めております、岩崎と申します。宇都宮陽北ロータリークラブでございます。この委員会の内容・スタートをお話しさせていただきますと、国際ロータリーにおいて1972年の規定審議会で決議された、『国際青少年プログラム』を実施する委員会ということです。地区ガバナーの指導のもとに青少年委員会がすすめるもので、各クラブから推薦された候補者を我々委員会で選考いたしまして、留学の心得を1年間にわたり指導して派遣をいたします。派遣国の地区委員の指導のもとに、外国のロータリアンの家庭でホストされ家族の一員として過ごし、現地の学校に通学いたします。ありのままの生活体験をしていただいてその国の習慣・風習等を学びながら、国際理解と国際親善を推進するというものです。いわば「ロータリーの親善使節」ということになります。

**佐貫G** / ありがとうございます。では、RYLA委員会、藤田委員長お願いします。

**藤田克彦・RYLA委員長（以下藤田委員長）** / RYLA委員会・委員長の藤田です。所属は宇都宮北ロータリークラブです。RYLA委員会では、ロータリー青少年指導者育成プログラムをもとに次世代のリーダーの育成をすることを目的にセミナーを開催するなどの活動しております。

**佐貫G** / ありがとうございます。では次に、インターアクト委員会の藤島委員長、お願いいたします。



**藤島拓・インターアクト委員長（以下藤島委員長）** / インターアクト委員会・委員長の藤島でございます。所属は、宇都宮南ロータリークラブです。「インターアクト (Interact)」の名称は、International=国際的 と、Action=行動 という2つの言葉が複合されてできた言葉です。文字通り「国際的な行動をしていしましょう」ということです。年齢が12歳から18歳までの青少年・主に高校生のために、ロータリーが提唱している奉仕クラブです。楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加して、社会奉仕と国際交流を経験し、リーダーシップのスキルを身に付け新しい友達をつくり、国際理解の深いグローバルな未来人を育成すること目的として活動しております。

**佐貫G** / ありがとうございます。まず二十二委員長、3つの委員会の位置づけと役割についてご紹介ください。



**二十二委員長**／先ほどお話をさせていただきましたが、この青少年奉仕委員会には「インターアクト」「RYLA」「青少年交換」の3つのプログラムがございます。これら3つのプログラムは、すべてR I (国際ロータリー)の常設プログラムとなっております、その方針と枠組みはR Iから示されます。そしてこの3つの委員会の目的はともに、「未来の地域のリーダーを育む」ということにあります。それぞれ3つの委員会が未来の地域のリーダーを育むために日々活動しております。

**佐貫G**／次に岩崎委員長、青少年交換委員会の活動内容・主な実施事項をお話してください。

**岩崎委員長**／簡単にお話をさせていただきますと、交換学生…アウトバウンド (Out Bound Student) つまり外国に派遣される学生を選考し、選考した学生を1年間のオリエンテーション等を通じて育成し8月に派遣をすることが1つめの仕事です。もうひとつは外国から日本に派遣されるインバウンド (In Bound Student)、こちらの学生に関しても派遣される学生と合同のオリエンテーションを通じて、またホストクラブ・ホストファミリーの中でホストされて育成・終了して7月に帰す、という大きな仕事があります。



**佐貫G**／当 2550 地区ではこのプログラムを利用してどのような国から、1年で何人くらい受け入れていますか？また 2550 地区からどこの国に何人くらい派遣しているか、今年度の現況と次年度の予定を含めて教えてください。

**岩崎委員長**／今年度受け入れている国は、デンマークから2名来ております。1人は女性のラーゲさん (小山北 RC)、もう1人はアクセルくん (今市 RC) です。またフランスから2名の男の子、ダニーくん (宇都宮 90RC) とソレイマンくん (佐野東 RC) です。アメリカからはヘーデンくん (黒磯 RC)、台湾からアーサーくん (宇都宮 90RC) を受け入れていただいております。来年度、8月に来日するのはデンマークから1人となりました。女性で矢板 RC の予定です。またイタリアから女性が宇都宮陽東 RC、フランスから女性が真岡西 RC、フランスから男性が足利わたらせ RC、台湾から女性が第6グループで受け入れていただく予定となっております。

具体的に、現在派遣されている学生はデンマークに2名・福田こころさん (西那須野 RC) と沼尾優璃さん (今市 RC)、フランスには倉林琵琶奈嘉さん (足利わたらせ RC) と萩野弥那さん (宇都宮 RC)、アメリカには舘啓斗くん (宇都宮陽東 RC) が現在行っております。これから行く学生も6名おります。イタリアの熊本拓実くん (宇都宮 RC)、フランスの佐々木華さん (宇都宮 RC)・鈴木ひかりさん (西那須野 RC)、台湾の早乙女澄玲さん (宇都宮北 RC)・仲田桃花さん (宇都宮北 RC)、デンマークの西館晴稀くん (宇都宮 90RC) が現在オリエンテーションをしております、今年の8月に出発して向かう予定です。

**佐貫G**／数多くの方々を受け入れ、また日本からも出ていくということですが、受け入れや派遣にあたって、気をつけていることや課題がありましたら教えてください。

**岩崎委員長**／委員会としての話になりますが、受け入れホストクラブの選定に関しては、なるべく早い時期にお伝えをしようということで、受け入れる年度の会長幹事と受け入れを決める年度の会長幹事、双方の同意をいただいて、クラブ内でホストファミリーを決めていただくということになっております。その選定期間については毎年12月頃にガバナーから次年度のガバナー補佐にホストクラブの選定を依頼しておおむね3月頃までに決めていただくことになっているというのが現状ですが、この過程において受け入れに関する説明が十分ホストクラブに伝わっていないのかと思います。ちなみに、選定が終わった後はきちんと受け入れの具体的なオリエンテーションを6～7月にかけてしっかりとさせていただいております。派遣に関する課題は、毎年8

月第一日曜日に選考試験ということで実施しているのですが、やはり世界の共通語である「英語力」ということが一番の重要なポイントとして選考させていただいています。

**佐貫 G**／受け入れるホストファミリーが一番心配しているかと思いますが、その方々にもレクチャーしていただけるということで、安心してホストファミリーを受けていただけるかと感じます。ぜひホストファミリーを率先して受けていただけるよう、この場を借りてお願いいたします。

**岩崎委員長**／青少年交換委員会の具体的な実施状況ですが、毎年 5 月までに次年度の派遣学生の募集を行います。これにつきましては、地区内の全クラブとインターアクトクラブのある高校に（募集を）出す予定です。そして8月の第一日曜日が選考試験ということになります。今年は8月17日にインバウンド5名が来日します。3泊4日の日本語研修をまず行います。8月末ごろ、受け入れた学生と派遣する学生の合同宿泊オリエンテーションを行います。昨年は日光の菖蒲ヶ浜で合同キャンプという形で実施させていただきました。合同でのオリエンテーションは、年間 5 回を予定しています。この合同オリエンテーションを通じて、学生は派遣される国からのインバウンドと交流ができ、言語や文化等を学ぶことができるということになっております。昨年 12 月のオリエンテーションでは烏山 RC のご支援をいただき、烏山の和紙作り体験・そば打ち体験をすることができました。今年 2 月のオリエンテーションでは黒磯 RC のご協力をいただきまして、那須でのスキー合宿研修ということで実施することができました。オリエンテーション以外でも、各受け入れロータリークラブにご協力いただいております。昨年 10 月は、デンマークのアクセルくんのホストクラブである今市 RC のご支援をいただきまして日光の散策ツアーを行い、そのあとバーベキューパーティを実施して、インバウンドの学生と派遣学生の非常に良い交流を図ることができました。また 4 月にはデンマークのラーゲさんのホストクラブである小山北 RC の招待で、天平の丘で行う観桜会にみんなで参加してまいります。このあと、5 月・6 月とオリエンテーションを実施する予定です。



**佐貫 G**／続いて R Y L A 委員会の藤田委員長、委員会の活動内容と主な実施事項についてお話しください。

**藤田委員長**／R Y L A 委員会では、主に 18 歳から 30 歳の社会人を対象とした「一般 R Y L A セミナー」と高校生を対象とした「高校生 R Y L A セミナー」を開催しています。今年度の実施状況としては、昨年 11 月に一般 R Y L A セミナーを 1 泊 2 日で開催しました。今後は 6 月に高校生 R Y L A セミナーを開催する予定で、ただ今準備をしているところです。

**佐貫 G**／一般 R Y L A と高校生 R Y L A があるということですが、それぞれの特徴と内容をもう少し詳しくお話しください。

**藤田委員長**／社会人 R Y L A セミナーでは、各種講師による積極性やリーダーシップを育成できるようなプロ

グラムを準備して受講生を迎えております。このセミナーは1泊2日もしくは2泊3日で開催しております、受講生同士が異業種であったり年齢が違ったりする受講生がコミュニケーションをとり、友人ができることなどにも留意して開催しております。実際にセミナー終了後のアンケートでも、異業種や年齢の違う方との交流が良かったという、有意義なセミナーだったという感想が多くみられます。続いて高校生RYLAセミナーですが、こちらは「模擬国連」というプログラムをもとに、地区内のインターアクトクラブを中心に高校生を受講生として開催しています。こちらと同じように、積極性・リーダーシップというものを引き出せるようなプログラムとして運営しております。また、他校生との交流も目的としておりまして、グループ分けその他で交流が取りやすいような気遣いはしております。

**佐貫G**／この一般RYLAや高校生RYLA、受講するとたいへん大きく成長するというお話をあちこちの方々から聞いております。その中で、RYLAを卒業した皆さんは「ロータリー学友」として継続的にロータリーと関わっていける人材だと思いますが、実際の状況はいかがでしょうか？

**藤田委員長**／RYLAセミナーを卒業された方々で「RYLA学友会」というものが組織されていて、そちらに希望者の方が集まって高校生・一般のRYLAセミナーの運営にも携わっていただいています。どちらも若い方が中心の受講生ですので、年齢の近い学友たちが携わっていただくことでより受講生に寄り添った内容で開催できているのではないかと考えています。



**佐貫G**／次にインターアクト委員会の藤島委員長、委員会の活動内容と主な実施事項をお話してください。

**藤島委員長**／インターアクトクラブの活動は、提唱されている各高校において予算的にも独立してそれぞれ様々に自分たちが何をやりたいのかを高校生たちが考えて、活動しています。それを提唱ロータリークラブが支援しています。それにプラスして地区独自に主な行事が3つほどありまして、それをご紹介します。まずは毎年8月のお盆前くらいの夏休み前半に、年次大会を開催しています。近年はコロナの関係でオンライン開催になっておりますが、今年度は8月12日に宇都宮文星女子高校・なでしこインターアクトクラブ（スポンサークラブは宇都宮北RC）がホストで、オンラインで開催し報告書という形で各クラブには報告していますし、DVDも配布しておりますのでぜひ各クラブでの青少年奉仕に活かしていただきたいですし、インターアクトクラブのないクラブにおいてはぜひとも地元の高校の提唱をお願いしたいと考えております。次年度については（ホストが）作新学院高校（スポンサークラブは宇都宮90RC）に決定しており、4年ぶりに全インターアクトクラブが一堂に会して開催する予定です。次は地区大会における青少年奉仕の交換会、高校生インターアクターですが、先ほどお話があった一年交換学生のローテックス（青少年交換後の学友）はインターアクトクラブの先輩ですので、そのローテックスと交流を深めるということで、今年度も12月10日の地区大会の午前中に行き、そこで交換留学・海外に対するインターアクターの思いが非常に強くなった、いい活動でした。メインである海外研修ですが、2011年度からスタートして…これは震災があった年ですが、その年に中止することなく数名でスタートした、2550地区インターアクト委員会のメイン活動と言ってもいいかと思えます。それを高校生は待ち望んでおりまして、打ち合わせ・合同会議の時に「行きたい！」ということが3～4年続いておりました。しかしコロナで行けず、国内の交流事業も企画したのですがこちらも行けない、やっと今年度に入って国際交流に準ずるものが解禁となり、3月26日～29日の3泊4日で、台北・台中・台南第3470地区のインターアクトクラブと交流をしてみました。これについてはのちほど、今参加したインターアクターの子どもたちのレポートをまとめておりますので、まとまり次第地区のすべてのクラブにご報告させていただく予定です。これについては各クラブから多大なるご支援をいただいておりますので、さらなるご支援をいただければと思っ

おります。プラスで私も初めてこの海外研修に参加させてもらって、歴史のある中で何ゆえにつながってきたのか、非常に苦しい中で…実際やってみて準備を含めてそうでしたが…そこにあるのは、ロータリークラブでなければ経験できない、それは受け入れてくれる台湾のロータリアンの方が、米山奨学生として日本でたいへんお世話になったという歴史がある中で、もちろん台湾と日本の歴史もありますが、我が地区の関係するロータリアンと台湾の関係するロータリアンとの人とのつながりを作っているものも米山奨学金であるということであらためて学ぶことができました。これも参加した・体験したが故に…高校生の研修ですが…ロータリアンである自分が学ぶところが多くありました。自クラブにインターアクトクラブがなくても、地区に参加していただいでそこでしか経験できないことが間違いなくあるので、インターアクトクラブや青少年奉仕の中で一緒に活動できれば、2550 地区の素晴らしい青少年奉仕が続くのではないかと個人的に思いました。年間を通して2回ほど実務会議がありまして、今年も11月と6月にあります。6月には佐貫ガバナーにも参加していただき、次年度の活動計画など提唱ロータリークラブの担当者と学校の顧問の先生にも来てもらって今後についての話をします。それも含めて、さまざまな交流をしております。

**佐貫 G** / 当 2550 地区には何校くらいインターアクトクラブがあって何人くらいのインターアクターがいますか？活動も教えてください。

**藤島委員長** / 提唱クラブのグループ別にご報告いたします。

(学校名・提唱 RC クラブ)

第1グループ

黒磯高等学校 (黒磯 RC)

第2グループ

矢板高等学校 (矢板 RC)

第3グループ A

文星芸大附属高等学校・宇都宮女子高等学校 (宇都宮 RC)

宇都宮短期大学附属高等学校 (宇都宮西 RC)

宇都宮文星女子高等学校 (宇都宮北 RC)

作新学院高等学校 (宇都宮 90 RC)

第3グループ B

宇都宮商業高等学校 (宇都宮東 RC)

宇都宮南高等学校 (宇都宮南 RC)

第6グループ

國學院大學栃木高等学校 (栃木 RC)

栃木工業高等学校 (栃木西 RC)

第8グループ

白鷗大学足利高等学校・足利大学付属高等学校 (足利東 RC)

足利短大付属高等学校 (足利 RC)

(足利 RC は足利高等学校も提唱していただいておりますが、現在足利女子高等学校との統合によって保留になっております。引き続き活動して下さるとのことで調整中です)

第9グループ

青藍泰斗高等学校 (葛生 RC)

佐野日大高等学校 (佐野 RC)



インターアクトクラブは 18 クラブ、提唱ロータリークラブが 14 クラブとなっています。

人数は、学年も変わり、宇都宮南高等学校の話をさせていただくと、今回の台湾研修が新入生の興味をひいて、入部希望者がたくさんいると聞いていますので、人数が増えるのではないかと考えています。2019 年1月 (コロナ前) の数値では、18 クラブで 700 名程度が活動しています。



佐貫 G / 結構な人数ですね。やはりロータリーがサポートしていかなければならないと思います。

藤島委員長 / 日本に 34 地区の中では 5 番以内に入る規模ということです。2550 地区のインターアクトクラブは、盛んに活動していると思います。

佐貫 G / 我々の地区の特徴でもありますね。インターアクトクラブに入っている生徒さんたちはどのような目標を持って活動しているか、そのためにロータリークラブは何をすべきか教えてください。

藤島委員長 / コロナの関係で 3 年以上ストップしてしまっていたので、何も活動せずに今年卒業した子たちは、残念ながらその思いだけ持って（卒業しました）。ただ卒業前の合同会議で、卒業した当時の会長などの話を交流会で聞いた中で、やはり海外研修を含めてなんでも経験したい、ところが 3 年以上してはいけぬ…特に学校はものすごく厳しい（制限が部活を含めてあった）。そんな中で、年に 1 回の年次大会が昨年 8 月 12 日に宇都宮文星女子高等学校で開催しましたが、毎年大会テーマを決めてそれに基づいて発表をします。今年は『Well-being』…みなさんいろんな意味にとると思いますが、インターアクトの活動を超えてという（テーマでした）。さらにその前の年の黒磯高等学校で…これもオンラインだったのですが…その時の大会のテーマは『輝け！未来へのバトン』でした。将来のことを

我々が思っている以上に考えていました。正直びっくりしました。感動もしたし勉強にもなりました。そんな中で、今回の台湾研修にも同行していただいた一年交換学生の先輩でありインターアクトの先輩でもあるローテックスの原さん・上野さんの話を聞いてまず挑戦だと、何にでも挑戦だと。それは先輩が後輩に伝えたこと、その一つが海外研修であり 1 年だけでも行けるか行けないかコロナの中で先が見えない中で進んでいって、その経験値からくる自分の可能性を広げたいと思っている子どもたちでした。そんな中でローテックスの原さんが合同会議の卓話の中で素晴らしいと思ったのは、原さんはインターアクトクラブの活動で何を手にしたのか。「世界への扉を開くカギを見つけた」そうです。ただやはり、当然ですが費用もかかります。我々ロータリアンは、そういうものに対してどう費用をどうしていくのか？これは本当に地区全体を含めて、もしくは日本



全体で考えて（いければ）。あらためて思ったのは、日本はものすごく平和な島国なんだと。これは素晴らしいことです。が、「事」は外で起きているので、外のことを日本にいて見ただけではわからないことがいっぱいあって…これは危ないですよ、危険です、いろんな意味で。それをロータリアン・大人の協力を得ながら、ロータリアンだからつながっている行き先の安全、これは間違いなくあると思います。それを実現できるし、していくことによって地区内の高校生も含めて得難い経験ができるのではないかとあらためて感じました。その中でひとりでも多くの方が支援していくことが 2550 地区の青少年の育成につながるし、それがその後にくる今の小学生・幼稚園生（の育成にもつながること）になるのかなとあらためて実感しています。引き続き資金面も含め、ともに海外研修…別に台湾にこだわることはないと思いますが…し



ていくことが、まさしく平和を目指すロータリーの（活動）、戦争が起きているこの時代ですので…ぜひともそうになっていただきたいと今回台湾研修を体験して感じました。ガバナーをはじめご支援いただいている地区内のロータリアンの皆様に感謝しています。本当にありがとうございます。

**佐貫 G**／ありがとうございました。青少年奉仕委員会二十二委員長、この3つの委員会の活動を通してロータリーは今後、社会にどのように寄与できるとお考えでしょうか？

**二十二委員長**／まず藤島委員長、熱いお言葉ありがとうございます！あらためて感激しました。ガバナーからのご質問ですが、先ほど青少年奉仕の3つのプログラムの目的は「未来のリーダーを育むこと」と申し上げました。インターアクトで蒔かれた一粒の種が、RYLA・青少年交換で芽を出し成長し、そしてさらには財団奨学生・世界平和フェローとなって大きく花開く、このようなプログラムがこの地域だけではなく世界中で行われております。将来の地域社会のみならず、世界中を明るく平和な社会に築いていただけると期待しているところです。



**佐貫 G**／3委員長さんに伺いますが、活動していて感じる課題や、当地区のロータリアンにどのように関わってほしいでしょうか？

**「未来のリーダーを育むことは今の地域のリーダーであるロータリアンの皆さんの義務であり責務であると考えております。」**

**岩崎委員長**／活動して感じる課題ですが、青少年交換委員会では交換先の学生の個人情報であるアプリケーションを入手して受け入れるホストクラブやホストファミリーへの情報提供ということに役立てておりますが、この個人情報の取り扱いについては非常に今、国際的に厳しくなっているのが実状です。この点につきましては、交換先のマルチ地区や各地区とアグリメント…つまり協定書を締結して、各受け入れクラブそれぞれでその個人情報を交換が終わったら破棄していただくとなっております。情報漏洩を起こさず、破棄までお願いしているのですが、そのあたりが課題かなというのが実際のところですね。（ロータリアンに）どのように関わってほしいかというご質問でしたが、各クラブの例会や奉仕活動に参加させていただきたいと思っております。また地域のお祭りや行事等にも参加させていただいて、ロータリアンとの交流を深めていただければ私どもは本望でございます。

**佐貫 G**／藤田委員長、お願いします。

**藤田委員長**／RYLA委員会では、活動内容・委員会自体の目的の周知がまだまだ不足しているのではというのが自分たちでもありまして、周知をして多くのロータリアンの方に知っていただくことを課題としています。知っていただいたらRYLAの活動を理解していただいたうえで、受講生の推薦など積極的に参加していただけたらと思っています。

**佐貫 G**／藤島委員長、お願いします。

**藤島委員長**／年度の目標にもあるのですが、各グループで1つ以上のインターアクトクラブを提唱していただきたいと思っております。宇都宮中心に高校も多いので、第4グループ・第5グループは非常に厳しいのは理解しておりますが、グループ全体で1つでも作って活動していただくと、地区からのフォローも含めてともに活動できると思っておりますので、お願いします。すでに提唱していただいているロータリークラブからは、ぜひとも1

名でいいので地区委員を毎年（選出してほしい）。提唱ロータリークラブが 14 クラブですので、各クラブから 1 名ずつ地区委員がいれば活発に活動していければと思いますので、よろしくお願いいたします。

**佐貫 G**／最後に二十二委員長、2550 地区全体の課題かと思いますが、人口減少や若い方々の県外流出という人材不足が懸念されています。若年者への教育・支援・啓発などを通じて、今後の 2550 地区を担う人材確保に向けてのロータリーの使命について、感じるところをお伺いしたいです。

**二十二委員長**／ロータリアンの使命というご質問をいただきましたが、未来のリーダーを育むことは今の地域のリーダーであるロータリアンの皆さんの義務であり責務であると考えております。ぜひこの有意義で楽しい夢のあるプログラムに積極的にご参加いただき、皆さんのロータリーの遺伝子を未来へ継承していただければと思います。よろしくお願いいたします。



**この有意義で夢のあるプログラムに積極的にご参加いただき、皆さんのロータリーの遺伝子を未来へ継承していただければと思います。**

**佐貫 G**／ありがとうございます。青少年奉仕は、ロータリーの 5 大奉仕部門の一つです。この委員会は、次世代を担っていく青少年や、若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。ロータリアンの皆さんの力を必要としております。ぜひひとりでも多くのロータリアンの皆様にご参考にしていただき、青少年育成に関する各プログラムへの参加者支援や、受け入れの理解を深めていただきたいと思います。委員長の皆様、これからもご尽力を賜っていただけるようお願い申し上げます。本日はお忙しい中お集まりいただき、また貴重なお話を伺うことができました。ありがとうございました。

一同／ありがとうございました。



2023年2月25日、第5グループインターシティミーティングが、佐貫直通ガバナーをお迎えして小山グランドホテルにて開催されました。この度のIMは、コロナ禍による交流制限から解放される想いが反映されたのか、自然発生的に心を紡ぐプログラムが繰り広げられることとなりました。

### ○白鷺大学ハンドベル部さんによる演奏

大小さまざまなハンドベルの音色がメロディーを奏で、学生さんのひた向きな姿と相まって、人と人との交流からしか体感できない、心に響く演奏をプレゼントしてくれました。

### ○歴代青少年交換学生さん、米山奨学生さんによるスピーチ

第5グループがホストクラブを務めた、2007-08 青少年交換学生さん（台湾出身 日本在住）、2018-19 青少年交換学生さん（アメリカ出身 関西の大学へ留学来日中）、2019-20 米山奨学生さん（モンゴル出身 小山の企業に在職）、そして現在小山北 RC にて受入れ中の 2022-23 青少年交換学生さん（デンマーク出身）から、自国紹介と共に、日本における体験談のスピーチをしていただきました。皆さんの言葉の端々には、日本を愛してくれている想いと、たくさんのロータリアンへの感謝の気持ちが込められており、心のつながりは、世代も、国境も、民族も軽々と超えられることを伝えてくれました。

### ○会員の笑顔

そして何より、久しぶりに顔を合わせる会員の皆さんの表情が、笑顔でいっぱいであったこと。友愛の精神に基づく交流こそ、平和な社会に欠かすことのできないスピリットを育み、ロータリー会員のかけがえのない財産になることを再認識させてくれた瞬間でした。





令和5年3月26日 日曜日、桜花爛漫のニューサンピア栃木を会場に、新型コロナウイルス感染拡大で中止されていた IM が3年ぶりに開催された。

「ロータリーに関する知識を広め、第7グループ内会員の親睦を図る」をテーマに、グループ内(日光・鹿沼・今市・鹿沼中央・今市きぬ・鹿沼東)6クラブより、92名の会員の参加を得ての開催である。

記念講演では、お弟子さんによる息をのむ迫力のある抜刀演舞の披露の後、東日本大震災発生直後より、今日に至るまで、190回に及ぶ復興支援活動を継続中の、飛行船プロジェクト代表の桶田正信より、「今、わたしたちにできること」を演題に、貴重な体験談を約1時間にわたりお話しいただいた。

引き続き、各クラブの事業発表があり、コロナ禍にもかかわらず、特色ある報告があった。そして、次年度には、グループ全体での新規同事業の実施を誓約し散会した。



# 04 主要行事予定

## ロータリー特別月間

7月	母子の健康月間	1月	職業奉仕月間
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間	2月	平和構築と紛争予防月間
9月	基本的教育と識字率向上月間 (ロータリーの友月間)	3月	水と衛生月間
10月	地域社会の経済発展月間 (米山月間)	4月	環境月間
11月	ロータリー財団月間	5月	青少年奉仕月間
12月	疾病予防と治療月間	6月	ロータリー親睦活動月間

9月・10月には、日本独自の月間テーマが設定されています。○内

## 22-23年度 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
5	5	金	宇都宮市内10クラブゴルフ大会	宇都宮 カンツリークラブ	
5	7	日	23-24年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
5	14	日	23-24地区研修・協議会	佐野日大高校	ホスト：田沼RC
5	20	土	宇都宮陽東ロータリークラブ創立30周年記念式典・祝賀会	ベルヴィ宇都宮	宇都宮陽東RC
5	28	日	第2グループIM	南平台温泉ホテル	第2グループ
5	28	日	馬頭小川ロータリークラブ創立50周年記念式典及び祝賀会	南平台温泉ホテル	馬頭小川IRC
6	4	日	22-23青少年交換最終オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
6	11	日	高校生RYLAセミナー	宇都宮 文星女子高等学校	地区RYLA委員会
6	11	日	RLIセミナー パートI	コンセーレ	地区RLI委員会
6	13	火	地区青少年奉仕部門合同会議	ベルヴィ宇都宮	地区青少年奉仕委員会
6	15	木	23-24年度第1回ガバナー補佐会議	ベルヴィ宇都宮	
6	16	金	第2回インターアクト合同会議	ホテルニューイタヤ	地区インターアクト委員会
6	18	日	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会

# 05 会員数報告

## 国際ロータリー第2550地区3月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例回数	会 員 数								40歳未 満
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員	
第1 グループ	大 田 原	2	24	23	0	0	0	1	-1	1	0
	黒 磯	3	33	34	0	1	2	1	1	3	0
	西 那 須 野	3	47	48	0	0	2	1	1	3	0
	黒 羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	2	24	22	0	0	0	2	-2	1	2
第2 グループ	烏 山	3	15	15	0	0	0	0	0	2	0
	氏 家	4	23	23	0	0	0	0	0	2	0
	矢 板	2	10	9	0	0	0	1	-1	1	0
	馬 頭 小 川	4	21	18	0	0	0	3	-3	0	0
	高 根 沢	5	14	14	0	0	0	0	0	0	0
第3 A グループ	宇 都 宮	3	105	96	0	5	4	13	-9	3	1
	宇 都 宮 西	5	68	67	1	0	3	4	-1	0	2
	宇 都 宮 北	4	41	44	0	0	3	0	3	0	1
	宇 都 宮 90	4	45	43	0	0	0	2	-2	5	2
	(宇都宮90結・衛星)	2	4	4	0	0	0	0	0	3	2
	宇 都 宮 陽 北	3	46	47	0	1	3	2	1	9	9
第3 B グループ	宇 都 宮 東	3	113	110	0	0	2	5	-3	0	3
	宇 都 宮 南	5	57	55	2	1	2	4	-2	8	1
	宇 都 宮 陽 東	4	49	49	1	0	1	1	0	9	0
	宇 都 宮 陽 南	4	23	23	0	0	1	1	0	7	4
	宇 都 宮 さ つ き	3	26	26	0	0	0	0	0	4	2
	真 岡	4	54	53	0	0	1	2	-1	0	0
第4 グループ	益 子	4	31	31	0	0	0	0	0	2	0
	真 岡 西	4	39	39	0	0	0	0	0	5	0
	下 野 上 三 川	3	19	19	0	0	0	0	0	3	0
	小 山 山	4	22	21	0	0	0	1	-1	1	0
第5 グループ	小 山 南	3	14	16	0	0	2	0	2	2	0
	小 山 東	2	22	22	0	0	0	0	0	0	0
	小 山 北	4	23	22	0	0	1	2	-1	0	4
	小 山 中 央	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0
第6 グループ	栃 木	4	47	48	0	0	2	1	1	5	0
	栃 木 西	3	34	34	0	0	0	0	0	1	0
	岩 舟	2	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	壬 生	4	17	17	0	0	2	2	0	1	0
	栃 木 南	4	40	39	0	0	0	1	-1	9	1
第7 グループ	日 光	5	21	21	0	0	0	0	0	4	0
	鹿 沼	4	65	65	0	0	0	0	0	2	2
	今 市	3	41	42	0	0	3	2	1	1	1
	鹿 沼 東	5	37	37	0	0	2	2	0	5	0
	鹿 沼 中 央	3	17	17	0	0	0	0	0	2	0
	今 市 きぬ	3	27	29	0	0	2	0	2	0	0
第8 グループ	足 利	2	23	23	0	0	0	0	0	1	0
	足 利 東	2	30	32	1	2	5	3	2	2	0
	足 利 西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0
	足 利 わ た ら せ	3	35	31	0	0	0	4	-4	0	0
第9 グループ	佐 野	4	55	54	0	0	1	2	-1	0	0
	葛 生	4	36	36	0	0	0	0	0	0	0
	田 沼	4	44	45	2	1	4	3	1	0	0
	佐 野 東	3	21	21	0	1	1	1	0	2	0
	48RC		1654	1636	7	12	49	67	-18	112	37

# 06 新入・物故会員

## 新入会員紹介



ますやまかずひろ

**増山和宏**

宇都宮さつき

2023年4月1日入会

ひまわり行政書士事務所  
代表

行政書士の増山です。わからない事ばかりですがよろしくお願いします。



あんどしげひさ

**安藤茂久**

宇都宮陽東

2023年3月22日入会

アルファクラブ株式会社  
ベルヴィ宇都宮 支配人

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



やすたによしのり

**保谷芳則**

鹿沼東

2023年4月5日入会

有限会社保谷製作所  
代表取締役

微力ながらお役に立てればと思います。宜しくお願いします。



かわだ とおる

**川田 徹**

田 沼

2023年3月1日入会

(有)カワダ住宅設備  
専務取締役

よろしくお願いします。



たなべ よしはる

**田辺吉治**

田 沼

2023年3月1日入会

佐野信用金庫 田沼支店  
支店長

皆様からのご指導を賜りながら、地域に貢献できるよう力を尽くして参ります。



たつの ゆう

**龍野 雄**

田 沼

2023年5月1日入会

足利銀行 田沼支店  
支店長

新しく田沼 RC に入会させて頂きます。不慣れな点もごさいますがご指導願います。

## 物故会員

**平池 貞夫** ひらいけ さだお

2023年3月6日逝去（享年87歳）

所 属 佐野東ロータリークラブ

追悼

1996-1997 年度職業分類委員会委員長  
1999-2000 年度会員選考委員会委員長  
2004-2006 年度職業分類委員会委員長  
2007-2013 年度 R 米山記念奨学会委員会委員長  
2013-2014 年度職業分類・会員選考委員会委員長  
2014-2023 年度雑誌・資料保存委員会委員長

財団：ポールハリスフェロー（PHF）

米山功労者：2回



◆◆◆ ご冥福をお祈り致します ◆◆◆





## 第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成 (あすか)

4月は入学式や入社式で新メンバーがそろって、不安と期待で心弾ませつつ新しい一歩を踏み出す活気あふれる季節でもあります。

ロータリーにおいても新会員の入会は、クラブにとって組織活性化になり、会員にとってその人生の転機につながるという大きな意義あるものです。

ロータリーの新会員を迎えるオリエンテーションでは、ロータリーの中核的価値観を始め基本的かつ重要なロータリー情報が伝達されていることと思います。

そのひとつに、**DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) の行動規範**が加わりました。

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映したものであり、クラブ会員全員に周知されてロータリーの様々な会合、研修、行事などあらゆる場において適用されるものです。その全文は My Rotary にもありますが、その中の一部を以下に抜粋いたします。

### 期待事項

すべてのクラブ会員、ロータリープログラムの参加者、学友、プロジェクトのパートナー、ロータリー代表者を含む参加者は、この行動規範を遵守し、他者を配慮し、誰もが尊重され大切にされる協力的でインクルーシブ、かつ前向きで健全な環境に寄与することが求められています。

### 他者を尊重する言葉を使う

- ・相手への理解を深めるために、アクティブリスニング（積極的傾聴）を実践する。
- ・わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。

### サポートを示す

- ・他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- ・不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする。

### 温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する

- ・温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- ・クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。

### 多様性を重んじる

- ・特定の人々を固定概念に当てはめたり、からかったりすることを避ける。
- ・異なるジェンダーを認識し、尊重する。

DEI の行動規範をもとにして、ロータリアンやその関係するすべての人々にとって居心地と風通しの良い風土を築く努力をすることが、魅力あるクラブを育てることになります。

DEI は、魅力あるロータリーへの会員増強とともに、一人も取り残すことのないクラブの退会防止につながる大きな切り札と考えます。

社会的弱者と呼ばれている人々の為のみならず、私たち全てのロータリアン一人ひとりにとっても大いに関連する DEI と認識していきたいものです。



## 会員意識調査



### 第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一（新居浜）

約3年におよんだコロナ騒動もようやく収まりを見せつつあり、これから本格的にロータリー活動も再開されるものと思います。人口減少下の我が国において、ロータリークラブも会員数の維持・増強は喫緊の課題であり、各クラブの皆様方も会員の維持・拡大にご苦労なさっておられる事と思います。

会員数の拡大・増強もさることながら、現会員の退会防止・維持も重要であると思われます。現会員の皆様が、現状のロータリークラブについてどう感じておられるか、満足しているのか、否か！今後どのような活動をしていきたいのか等々を把握することも重要だと思います。

その意味で、本年2月に開催されました第2670地区愛媛第1分区IMでの会員アンケートの結果をご報告させて頂きたいと思っております。今後の活動に少しでも参考になれば幸いです。

以下アンケート項目並びに回答を報告致します。（対象者 第2670地区愛媛第1分区9クラブ364名）

紙面の制約上、ごく一部しか報告出来ないのは残念ですが、如何でしょうか？結果は皆さまの感性ですが、私は前向きにとらえています。

それぞれの会員は現状に満足し、存在・価値を高く評価していると思っております。ロータリー運動に自信をもって進んで行きたいと思っております。

#### あなたは自分のクラブに満足していますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
満足	13 (39%)	3 (33%)	20 (49%)	8 (29%)	8 (32%)	28 (59%)	2 (15%)	15 (54%)	17 (43%)	114 (43%)
どちらかといえば満足	17 (49%)	5 (56%)	15 (36%)	14 (52%)	8 (32%)	16 (33%)	4 (32%)	9 (32%)	13 (32%)	101 (38%)
普通	5 (14%)	1 (11%)	6 (15%)	4 (15%)	8 (32%)	4 (8%)	5 (38%)	4 (14%)	10 (25%)	47 (18%)
どちらかといえば不満足	0	0	0	0	1 (4%)	0	2 (15%)	0	0	3 (1%)
不満足	0	0	0	1 (4%)	0	0	0	0	0	1 (0.3%)
合計	35	9	41	27	25	48	13	28	40	266 (100%)

#### ロータリー活動は自己成長は自己成長につながっていますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
大いに役立っていると思う	9 (25%)	1 (11%)	15 (37%)	5 (19%)	2 (8%)	19 (35%)	3 (23%)	8 (30%)	13 (33%)	75 (27%)
役立っている	24 (67%)	7 (78%)	21 (51%)	20 (75%)	17 (68%)	23 (42%)	8 (61%)	16 (59%)	19 (47%)	155 (57%)
わからない	3 (8%)	0	5 (12%)	1 (3%)	3 (12%)	13 (28%)	1 (8%)	3 (11%)	8 (20%)	37 (14%)
あまり役立っていない	0	1 (11%)	0	1 (3%)	3 (12%)	0	1 (8%)	0	0	6 (2%)
役立っていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	9	41	27	25	55	13	27	40	273 (100%)



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター 服部 良男（愛知三州）

第2地域のロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）第2760地区、愛知三州ロータリークラブの服部良男です。

2016～17年ガバナーを終わって、3年間ロータリー財団地域コーディネーター補佐、その後3年間 コーディネーターで最終年度です。6年に渡り、多くのロータリーリーダーの皆様、日本事務局の皆様と一緒に活動できたことは、人生の財産です。

第2地域は、9地区ありますが、そのすべての地区が積極的にロータリー財団活動に取り組んでいらっしゃる、熱心な地区ロータリー財団委員長がいらっしゃいました。多くの地区財団リーダーが永年、ロータリー財団活動のリーダーとして活躍していらっしゃる方ですので、地区のロータリー財団活動の経験のない私は、多くのことを学ぶ素晴らしい経験でもありました。

そこで、地域のコーディネーターとしては、9地区のロータリー財団委員長の横のネットワークを創って、情報や、お困りごとを共有したりすることで、地域のとしての活性化をめざし、FF9というチームを創り5年になります。FF9とは、私の前任者の舟木いさ子 RRFC の F、Rotary Foundation の F そして、9地区の9の頭文字です。ガバナーはガバナー会として横のつながりがありますが、地区委員長は、横の連携が無いので地域のコーディネーションが必要と結成しました。今年からは、E/MGA、EPNCもFF9に参加いただきました。

RRFCの3年間は、コロナ禍で、ほとんど、Zoomにてのオンライン会議になりましたが、2750地区の高橋茂樹補佐、2780地区の田中賢三、佐野英之補佐、2760地区の中村公彦、伊藤靖祐補佐と素晴らしい補佐に恵まれ、オンラインだから、より各地区のリーダーと交流や情報共有ができたと思います。FF9Newsを発行して、他地区の活動を共有したりしました。

今年度は、第2地域の地域リーダーが協働してチームになることを目指し、RPICの服部陽子様、RCの野口英一様、E/MGAの杉岡芳樹様、EPNCの伊藤雅基様と一緒に昨年10月の世界ポリオデー2022を企画運営いたしました。34地区の皆様には、ご協力いただき、誠にありがとうございます。地域リーダーチーム力が少しアップしたのではないかと考えています。

コロナのパンデミックがあったから、オンラインしかできなかったから、このようにFF9のチーム力が上がったし、地域リーダーの連携ができたと思っています。まさにコロナという脅威が連携という機会につながったと思います。

次年度に向け、次年度 RRFC の伊藤靖祐リーダーと更なる活性化を目指していきたいと思っています。今後ご支援、ご協力よろしく願いいたします。



### 1. 第5代よねやま親善大使が決定！

昨年12月から約2カ月間にわたって行われた「第5代よねやま親善大使」の募集には、多くの優秀な学友から応募が集まり、最終的に33人の応募者数となりました。

募集締め切り後、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、ご応募いただいた方々の中から、以下の3人が第5代よねやま

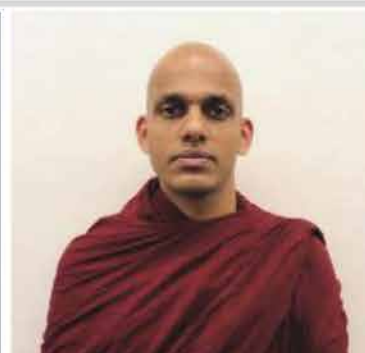
親善大使に決定しました。

任期は2023年7月から2年間。日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使の派遣をご希望される方は、当会事務局の広報担当へご連絡ください。



**陳 瑶 (チン ヨウ)**  
(中国/2012-14/四日市東RC)

大手企業会社員。2018年度から2年間、第2750地区米山学友会会長を務め、今年度からは同学友会副会長として活動中。中国国家衛生健康委員会と厚生労働省、各医科・薬科大学のトップ層会談や医学術交流において通訳を担当。愛称は「マリオ」さん。



**ウエンブエベ スマナサラ**  
(スリランカ/2018-20/京都中RC)

一燈園の研究者。「NPO アシヨーカ」を設立し、子どもの教育を支援。ウクライナ、スリランカ、インド、ネパールの学生らに対し、日本語、日本の文化・技術を教えながら、異文化理解促進、平和で幸せな世界をつくる活動に尽力している。



**イメン ジェプリ**  
(チェンジア/2019-21/西宮RC)

東京理科大学勤務。外国人女性と日本人女性に奨学金を提供する団体(CWAJ)でボランティア活動中。視覚障害者への奨学金や、英会話教育を行う。36,000人のフォロワーを持つFacebookページ「Welcome to Japan」を運営し、日本文化や観光地を紹介。

### 2. 寄付金速報 — 3月も順調に推移 —

前年同期比

+ 5.9%

普 - 2.0% 特 + 10.1%

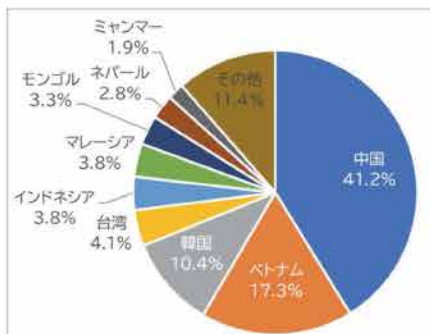
3月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増（普通寄付金:2.0%減、特別寄付金:10.1%増）、約6,700万円の増加となりました。3月単月の

寄付合計金額が5,000万円を超えたのは、前年度を除くと2018年度以来となり、コロナ禍以前の寄付状況に戻りつつあります。今年度も残り2カ月半余りとなりました。ご寄付を今年度実績扱いにするためには、6月30日（金）までに当会口座に着金するようご送金ください。よろしくお願いたします。



### 3. 2023 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2023 学年度の奨学生は 901 人となりました。新規採用者 648 人、継続者 253 人です（4 月 7 日現在）。国・地域別では、中国 41.2%、ベトナム 17.3%、韓国 10.4%、台湾 4.1%、インドネシア、マレーシアが同率で 3.8% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 845 人（学部 441 人、修士 237 人、博士 167 人）、地区奨励奨学金が 22 人、クラブ支援奨学金が 13 人、海外学



友会推薦奨学金が 4 人、海外応募者対象奨学金が 17 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

### 4. タイ米山学友会 総会開催

2 月 25 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催されました。3 年ぶりの対面開催となった今回、26 人の学友に加え、日本からは、ロータリアンとその家族を含む 7 人が参加し、会場には 33 人が集いました。

総会では、委員会の開催や会計報告のほか、病院への医療機器寄贈、小学校への遊具やスポーツ用品寄贈といった年間の活動報告、今年 8 月に開催される「再会 in 関東」についてのアナウンスがありました。同学友会会長のワラウト・ブンロッドさん（1995-97/福岡東南 RC）は、「ご参加いただいた多くの関係者と、日本か

ら足を運んでいただいたロータリアンの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。久々の対面開催でしたが、タイ学友会の強い結束力、協調性、積極性でやりきることができました。次年度も、より盛大に総会を開催できるよう頑張りたいと思います」と意気込みを語りました。



### 5. 米山学友が日本の高校で出前講義

3 月 17 日、国際ロータリー第 2750 地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて国際交流活動を行いました。この活動は、もともと東京米山友愛ロータリークラブと東京米山ロータリー E クラブ 2750 が合同主催していましたが、学校側の日程都合により、今回からは同地区の学友会が主催しています。



当日は、同校の 2 年生の生徒 269 人に対し、6 人の米山学友と 1 人の現役奨学生に加え、1 人のローターアクターが講師として参加。それぞれの講師が授業形式で 7 つのクラスを回り、日本語と出身国の言葉を交えながら、自己紹介や興味のある話題、自国文化について紹介しました。今回の活動を後援し、同行した東京米山ロータリー E クラブ 2750 の疋田淳子会長は「講師がしっかり準備して臨んだことで、活気と笑い声に包まれるクラスばかりで、大変有意義な授業になりました。ぜひこれからも継続してほしい奉仕活動です」と感想を述べました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp)  
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>  
編集担当 : 野津(のづ)・長尾(ながお)



## 寄稿募集

### あなたのクラブの「親睦活動」を教えてください

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。  
これに因み、ガバナー月信6月号では各クラブの「親睦活動」に関する寄稿を募集します。みなさんのクラブで行われている親睦活動や親睦をはかるために工夫していること、他クラブ・他地区との交流などを、ぜひガバナー月信の紙面でご紹介ください。

内 容：「私のクラブの親睦活動」

字 数：400字程度

（クラブ名、執筆者名／クラブ内での役職を記載してください）

締 切：令和5年5月25日（木）必着

送信先：m2550@agate.plala.or.jp

（第2550地区ガバナー事務所）

※掲載可能な写真データや資料がありましたら添付してお送りください。

## ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言

2025-26年度ガバナー候補者の推薦期間を、2022-23年度ガバナー月信第2号で公示しましたが、2022年9月30日の締め切りまでに候補者の推薦は有りませんでした。

2023年4月11日、地区ガバナー指名委員会は、RI細則12.020に基づき、宇都宮北ロータリークラブ会員二十二修君を2022-23年度ガバナーノミニー・デジグネート（2025-26年度ガバナー）に指名いたしました。

これに対し、対抗候補者がいる場合は、2023年4月26日までに推薦下さるようEメールにて通知しましたが、締め切りまでに有りませんでした。

よって、二十二修君を「2022-23年度 国際ロータリー第2550地区ガバナーノミニー・デジグネート」として正式に確定致しました事を茲許宣言いたします。

国際ロータリー第2550地区ガバナー 佐貫 直通  
2022-23年度ガバナー指名委員会委員長 森本 敬三



じそじ おさむ  
**二十二 修 氏**

生年月日	1957年4月18日
所 属	宇都宮北ロータリークラブ
入 会	2001年7月1日
職業分類	保険代理業
勤 務 先	有限会社トーカイ安心サービス 代表取締役

### ロータリー歴

2005年-2006年	クラブ幹事
2009年-2010年	クラブ会長
2011年-2013年	地区インターアクト委員長
2018年-	地区青少年奉仕委員長
2022年-2023年	第3グループAガバナー補佐

2023年5月1日クラブ宛報告済



## 絵本再生プロジェクト 栃木市寄贈のご報告

蔵の街とちぎローターアクトクラブ 会長 関谷暢

本年 3 月 30 日に当クラブ会員の所属会社の皆様や提唱ロータリークラブの皆様にご協力をいただき、栃木市子育て支援課へ約 70 冊の絵本や図鑑を寄贈いたしました。

その「絵本再生プロジェクト」に対し、栃木市市長 大川秀子様から「蔵の街とちぎローターアクトクラブ」宛に感謝状を贈呈いただき、会長である私、関谷と会計のラムさんの二人で栃木市役所へ伺いました。活動が続けるにあたってこういった形で認めていただいたことは会員の励みになりました。また、贈呈式にて市長と 15 分程度歓談の時間を設けていただき、活動の経緯やロータリークラブとローターアクトクラブの違いや、そもそもローターアクトクラブとは何なのかなどをお伝えすることができました。まだまだローターアクトクラブの認知度は低いのが現状ですので、このような活動を通して地域の方々に知っていただけるように努めてまいります。

今期残りわずかではありますがもう一つ二つと実績を作り、来期に向けてクラブ一丸となって奉仕活動に取り組んでまいります。第 2550 地区の皆様のご更なるご協力もお待ちしておりますのでよろしくお願いいたします。



### 鹿沼ロータリークラブ例会場変更のお知らせ (2023 年 6 月～)

新例会場 日晷そば

〒322-0029 鹿沼市西茂呂 2-22-25

TEL 0289-65-2525

例会曜日・時間は変更ありません。





10

Governor's gallery

ガバナーギャラリー

写真撮影が趣味の佐貴ガバナー  
季節に合わせた  
栃木の美しい風景をご紹介します。



市貝町 芝桜



## 5月の風景 *Naomichi Sanuki*